

水土里 ネット

あおもりだより

CONTENTS

ご挨拶	会長	丸井 裕	2
	農村整備課長	村本 淳	3
	参議院議員	進藤 金日子	4
	参議院議員	宮崎 雅夫	5
本会の役員紹介			6
青森県農業農村整備事業予算 / 国スポ協賛情報			7
令和7年度 事業計画重点推進事項 取組状況			8
令和7年度 事務分掌、機構図			11
NEW FACE 紹介 / 資格取得一覧			13
第68回通常総会			14
表彰関係			15
宮崎雅夫参議院議員との意見交換会			16
研修会 / 水土里ネット女性の会			17
会議等の実績			18
各種行事			19
フォトコンテスト作品募集 / 第47回全国土地改良大会			20

表紙写真：令和6年度あおもりの農山漁村フォトコンテスト
人々の暮らし部門 優秀賞 「青の煌めき」

2025年6月
第413号

青森県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット青森)





新年度のご挨拶

青森県土地改良事業団体連合会

会長 丸井 裕

本会の運営につきまして、日頃より特段のご高配を賜っておりますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なご尽力、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和7年4月の役員会において、引き続き会長に選任されました。本県の農業農村の振興と土地改良関係団体の発展のため、全力で取り組んでまいりますので、会員をはじめ、関係機関の皆様方には一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、我が国の食料安全保障は、世界的な人口増加、国際情勢や気候変動による生産の不安定化、国内の農業者の減少・高齢化など、さまざまな情勢の変化や課題に直面しております。こうした中、国では、新たな食料・農業・農村基本計画において、食料安全保障を実現する観点から「国内の農業生産の増大」や「食料自給力の確保」を施策の柱に掲げ、生産コストを徹底的に低減させる農地の大区画化、農業生産基盤の適切な保全管理等により、農業の構造転換を初動5年間で集中的に推進することとしています。

また、青森県においては、農林水産業が持続的に発展する社会の実現に向けて「青森新時代『農林水産力』強化パッケージ」に基づき各種施策を推進することとしており、農業農村整備分野では、「スマート農業にも対応した基盤整備の推進」「農業・農村の防災・減災、強靱化」「農業・農村インフラの機能の確保」を重点プロジェクトとして掲げています。

本会といたしましては、こうした国や県の動向を踏まえ、農業農村を巡る情勢の変化に的確に対応しつつ会員の皆様のニーズに応えていかなければならないと考えております。そのためには、国等に対して事業効果を示しながら、必要な政策の実現や予算確保が図られるよう、積極的に要請してまいります。加えて、国土強靱化中期計画や農業構造転換集中対策の推進に必要な別枠予算についても、関係機関と連携しながら迅速に対応してまいりたいと考えます。また、本会が実施する調査設計業務では、スマート農業やDXの導入に向けた取組を積極的に推進していきます。

最後になりますが、7月には、宮崎まさおさんの2度目の戦いが控えております。引き続き、我々土地改良の代表者として、進藤議員とともに国政の場で存分に力を発揮できるよう、私たちは強力に後押ししていかなければなりません。皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様方のご多幸と益々のご活躍を祈念いたしますとともに、災害がなく豊作の年となることを願い、年度当初のご挨拶とさせていただきます。



就任のごあいさつ

青森県農林水産部農村整備課長

課長 村本 淳

4月1日に農村整備課長を拝命し、山本前課長の後任を務めることとなりました村本と申します。

まずは簡単に自己紹介をさせていただければと思います。私は農林水産省から出向しておりますが、これまで農村振興局において、局予算の総括や土地改良事業の地方財政措置などを担当してきたほか、直近では土地改良法の改正にも携わりました。本省以外では、愛知県及び宮城県の国営事業所で、ダムや水路の調査設計・工事といった現場業務に従事しました。また、国際関係業務では、中南米諸国との二国間関係構築や在トルコ大使館勤務の経験があります。

これまで13回と引っ越しが多い人生を送っており、出身地を1か所に定めるのは難しいのですが、最も長く居住していた千葉県我孫子（あびこ）市を出身地としています。我孫子市は千葉県の北西部に位置し、利根川と手賀沼に挟まれた水と緑の豊かな街で、実家は手賀沼干拓地を望む住宅地にあります。眼前に広がる大規模水田地帯が土地改良によるものだと思ったのは就職した後ですが、不思議な縁を感じたことを覚えています。

本稿執筆時点で着任して1か月となりますが、これまで仕事に関わった方々には親切にさせていただき、津軽弁の聞き取りに困ることもほとんどなく、仕事のやりやすさを感じています。ふらっと知らないところに行くことが趣味ですので、休日には様々な地域に足を延ばし、青森ならではの豊かな自然、文化、食を楽しみたいと考えています。

さて、本年4月1日に、農業の担い手不足や自然災害の激甚化・頻発化といった課題に対応し、土地改良施設の保全等を図るため、改正土地改良法が施行されましたが、本県の農業農村を取り巻く状況も例外ではありません。本県では、これら喫緊の課題に対応し、農業農村の持続的な発展を支える土地改良事業を推進するため、2024年度から5箇年の「青森県農業農村整備中期推進方針」を策定し、「生産力強化」、「防災力強化」、「地域力強化」の3つの柱により、施策を展開しているところです。

本県では、県民の方との対話（あおばな）を通じ、よりよい県政につなげていくことが重要と考えておりますので、農業者や土地改良区の皆様をはじめ、関係者の方々と機会をとらえて意見交換させていただければ幸いです。農業農村整備を通じた本県農業の発展に貢献すべく、これまでの経験を活かしながら誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



農業構造改革の スタートの年度にあたって

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤金日子

水土里ネットあおりの皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年6月食料・農業・農村基本法が改正され、新たな施策が次々と打ち出されており、これに伴い、土地改良法も改正され、本年4月には新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されました。

土地改良法の目的が、農業生産基盤の「整備及び開発」から「整備及び保全」に改正され、また、地域における農業生産活動の実施に重大な影響を及ぼす恐れのある「基幹的な農業水利施設の更新」事業を農業者の申請によらず、国・県の発意により実施できる制度を創設するとともに、急施の防災事業について損壊が生じる恐れがある農業水利施設の補強等の事業を実施可能とし、復旧事業については原形復旧だけでなく再度災害防止のための事業とともに突発事故被害と類似の被害を防止するための事業も追加しました。

また、土地改良区が市町村や他の関係者と連携して「連携管理保全計画（いわゆる水土里ビジョン）」を作成して、県知事の認可を受け、末端施設も含めた土地改良施設の保全を行う仕組みを新設しました。

これらの改正と同時に令和7年度予算も充実が図られ、令和7年度に執行可能な予算は6,500億円となりましたが、新たな食料・農業・農村基本計画に位置つけられた食料安全保障の確保や農業の持続的な発展等を進めるためには、別枠予算を確保し、大区画化等の農地整備や基幹的な農業水利施設の更新等を進める必要があります。

加えて、令和7年3月末に農地を次世代に引き継ぐための地域計画が各市町村で策定されましたが、この地域計画は、地域の方々が自らの農地の実情を認識し、将来誰に耕作を託し、そのために何をすべきかの判断を促すもので、次年度以降、常にローリングしていくことが重要です。そして、地域計画における農地利用の空白を防ぎ持続可能な地域農業を実現していくためには、土地改良の推進が不可欠です。

土地改良法の改正と新たな制度の創設を契機として、本年度は農業構造改革のスタートダッシュを図る年度です。7月には同志の宮崎雅夫議員の二回目の挑戦を控えていますが、農政の課題解決に向けて土地改良の加速的な実施が求められる中であって、貴会の会員の皆様方のご理解とご協力を賜わり、是非とも困難を乗り越えさせていただきたいと存じます。私も精一杯努力してまいりますので、皆様方からのご指導とお力添えを宜しくお願い申し上げます。



新たな農政での 土地改良の強力な推進に向けて

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

青森県土地改良事業団体連合会ならびに会員の皆様、関係各位におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、四半世紀ぶりとなる「食料・農業・農村基本法」の改正では、土地改良について、スマート農業も見据えた「整備」に加え、防災・減災、老朽化対応を含む「保全」が新しい柱として明記されました。これを受け、本年3月末には土地改良法も改正され、整備と保全の両面から制度強化を進めています。

また、この裏付けとなる予算も昨年度比260億円増の6,500億円を確保することができました。これも皆様のご尽力の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

さらに、本年度より改正基本法を実効あるものとしていく「農業構造転換集中対策期間」5か年がスタートしており、農地の大区画化や農業水利施設の老朽化対策など予算規模の大幅な拡大にも取り組んでいます。5月21日には、党本部において全国から土地改良をはじめ農業関係団体の皆様にもご参加いただき、「緊急総決起大会」を開催したところです。その際、私も代表として登壇し、思い切った予算確保に向けた「頑張ろうコール」で大会を締めくくりました。

加えて、国土強靱化においては、15兆円程度の事業規模で実施中の5か年加速化対策（令和3～7年度）を上回る、5か年で20兆円強程度の実施中期計画を取りまとめる予定であり、土地改良分野においても、しっかりと予算を確保すべく全力を尽くしてまいります。

この夏、私にとって二度目の挑戦が控えております。皆様のさらなるご支援をいただきながら、一步一步着実に前進していく覚悟です。引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念として、皆様のお声をしっかりと国政に届け、新たな農政での土地改良の強力な推進に向け、誠心誠意努力してまいります。引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、青森県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。

青森県土地改良事業団体連合会 役員名簿

〔任期：令和7年4月1日から令和11年3月31日まで〕

令和7年6月30日現在



会長 丸井 裕
(稲生川土地改良区 理事長)



副会長 田中 清榮
(岩木川土地改良区 理事長)



専務理事 石澤 雅史
(学職経験者)

新任

新任

新任



理事 増田 教正
(西津軽土地改良区 理事長)



理事 山崎 順子
(田子町土地改良区 事務局長)



理事 三浦 政志
(馬淵川土地改良区 理事長)



理事 鳴海 隆弘
(浅瀬石川土地改良区 理事長)

新任

新任



理事 菊地 清昭
(青森第二北部土地改良区 理事長)



理事 加藤 千尋
(弘前大学農学生命科学部 准教授)



理事 野上 憲幸
(十三湖土地改良区 理事長)



理事 鳴海 初男
(白山溜池土地改良区 理事長)

新任

新任



理事 榎林 文昭
(榎林土地改良区 理事長)



理事 倉光 弘昭
(つがる市 市長)



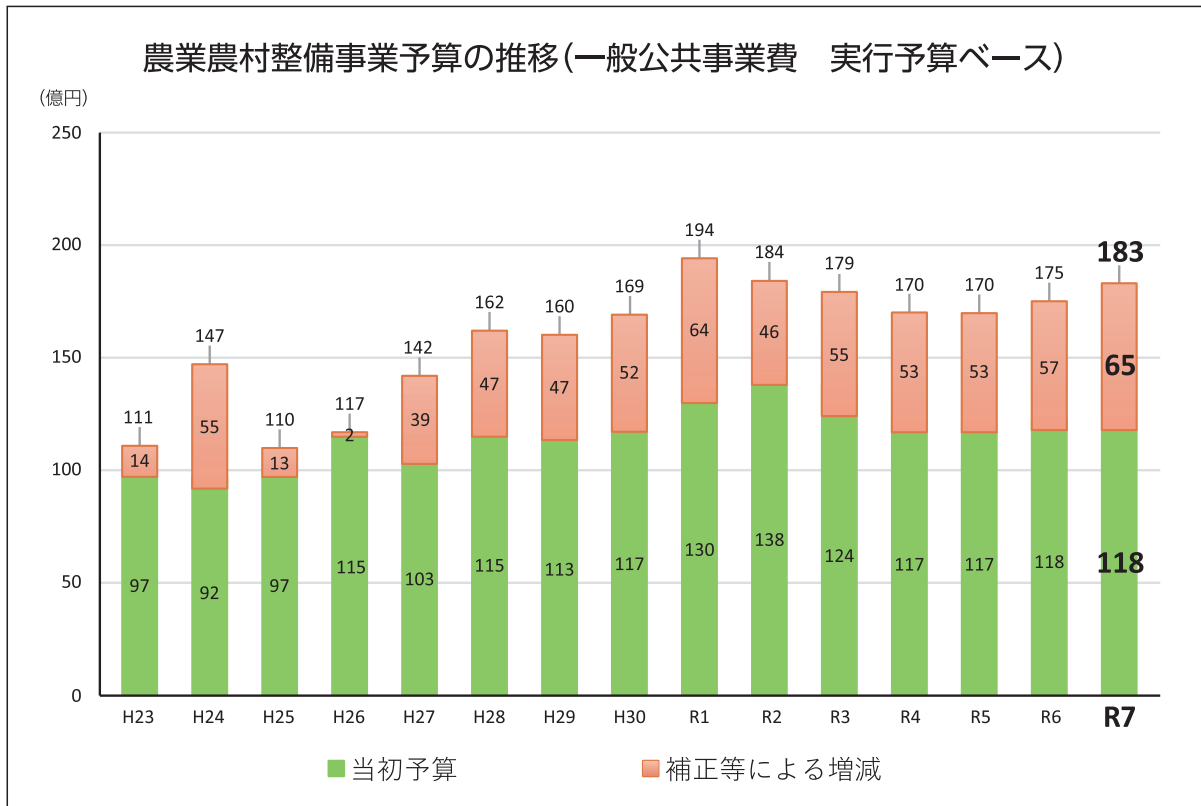
総括監事 小林 弘
(奥瀬堰土地改良区 理事長)



監事 須々田 憲一
(六羽川土地改良区 理事長)

令和7年度 青森県農業農村整備事業予算

県の令和7年度当初予算（実行予算ベース）は、令和7年度当初予算118億円に補正予算65億円を合わせて183億円となります。



青の煌めきあomorikokuspo・障スポ



2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って



本会は、「青の煌めきあomorikokuspo・障スポ」にオフィシャルサポーターとして協賛しています。

スポーツが持つ「挑戦」「つながり」「元気」は、土地改良と同じように、地域の持続的な発展を支える大きな力です。

この大会に臨むすべての選手が、その力を発揮して、笑顔と感動を届けてくれることを、心から楽しみにしています。

本会は、青森の農業と挑戦する皆さまの想いをしっかりと支えて行きます！

※詳細は、ホームページ (<https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/>) をご確認ください。

令和7年度 事業計画重点推進事項

本会の令和7年度における重点推進事項をお知らせします。

重点推進事項1 スマート農業の導入やICT活用を促進する農地整備の推進

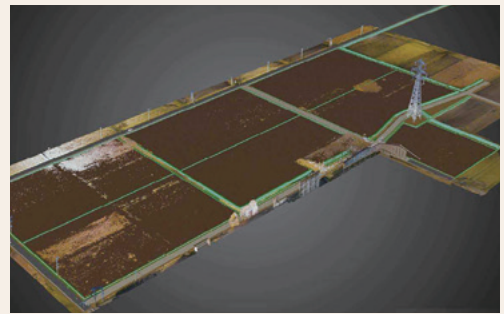
各地区の要望を踏まえた、ほ場整備事業計画の取りまとめや、実施設計等に取り組むとともに、スマート農業の導入に対応した基盤整備の推進を図ります。

担当部署：農地整備部（電話：017-723-2404）

◆ 主な取組内容

ほ場整備事業については、地域のニーズを把握した上で、水田の大区画化や暗渠排水、用排水路、農作業道を計画し、効果的な営農環境の整備を推進します。

また、農業農村整備におけるDXの推進に向けては、中山間地域へのスマート農業導入を促進するための基盤整備手法の確立を図るとともに、農業農村整備プロセスにおいてICTの活用実践とその効果の検証を行います。



ほ場整備(3次元点群データ+設計データ)

重点推進事項2 農業水利施設の長寿命化対策の推進

将来的にわたって持続可能な営農の実現を図るため、老朽化が進行している農業水利施設の機能保全計画の更新を支援します。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 主な取組内容

国・県営土地改良事業により造成された農業水利施設（頭首工、揚排水機場、用排水路等）の有効利用を図り、効率的な機能保全対策を推進するため、施設の劣化状況等を調べる機能診断を行い、機能保全計画の更新を行います。

また、対策工法の検討にあたっては、活用可能な新技術の情報収集に努めるとともに、円滑な事業化の推進を図ります。



排水路の対策前



排水路の対策後

重点推進事項3 防災重点農業用ため池の防災・減災対策の推進

ため池サポートセンターによる、技術的な指導等を継続的に実施するとともに、改修工事等が必要なため池の計画的な防災・減災対策の実施を支援します。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 主な取組内容

ため池サポートセンターへの相談件数は年々増加傾向にあり、特に廃止ため池に係る相談が多く寄せられています。引き続き、気軽に相談出来る環境の整備に努めます。

防災重点農業用ため池については、優先順位や緊急性等の情報を県及び関係市町村と共有しながら、計画的かつ効果的な対策の推進に取り組めます。

重点推進事項4 農業集落排水施設の計画的な更新整備の推進

老朽化が進む農業集落排水施設の適正な維持更新を図るため、維持管理の効率化・適正化に資する施設整備を推進します。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 主な取組内容

農業集落排水施設の老朽化や機能低下が顕著になっている現状を踏まえ、施設の適正な維持管理を実現するため、現状の処理施設の運転状況および維持管理上の問題点の調査、施設の再編・集約や施設規模の適正化の検討、省エネ技術の導入検討等を行い、これらの取り組みに関して、県及び市町村と協議を行い、より効果的かつ効果的な「維持管理適正化計画」の策定を支援します。

重点推進事項5 多面的機能支払活動組織の体制強化を支援

活動組織が継続的に共同活動を実施できる体制の構築を図るため、事務体制の整備等に関する提案を行っていきます。あわせて、行政機関や土地改良区が事務委託を通じて組織活動と連携・支援できる体制の構築を推進し、組織活動の持続性を高めていきます。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 主な取組内容

今年度に活動終期（活動5年目）を迎える組織が、令和8年度以降も継続するよう推進します。特に活動の中止を検討している活動組織に対しては、行政機関や土地改良区と連携し、それぞれの課題に応じた情報提供や助言等を行い、継続に向けた支援を行います。

また、事務作業の効率化に資する「活動記録システム」使用率向上を図るため、研修会の開催や宣伝用リーフレットを作成し、システムの普及を促進します。



活動記録システム操作方法研修会

重点推進事項6 土地改良区の運営基盤強化に向けた支援

地域の農業生産の保全及び土地改良区の運営基盤強化に向け、土地改良区関係者と連携して農業水利施設の保全に取り組めるよう支援します。

担当部署：総務管理部（電話：017-723-2401）

◆ 主な取組内容

・ 土地改良区の将来予測支援

財務分析について継続的に啓発を行うとともに、必要に応じて現地指導等を行い、より良い運営の実現を目指して支援および助言をしていきます。

土地改良区の経営収支の健全化に向け、円滑な「水土里ビジョン」を策定するため会計指導員を中心に関係団体と連携し、支援していきます。

・ 女性理事登用の促進

女性理事の登用については、成果目標達成のために引き続き話題提供や情報発信に努め、土地改良区の体制強化に繋がります。

また、関係機関と連携し、女性理事登用に向けて研修等で周知を図りながら、最新の情報の把握に努めるとともに、女性理事登用に対する更なる理解の醸成に向けて支援します。

重点推進事項7 年代別研修及び資格取得に関する支援等による人材育成の強化

年代や職務経験に応じた効果的な研修会を開催するほか、土地改良区職員の技術力向上を目的とした資格取得や講習会・研修会への参加を支援します。

担当部署：総務管理部（電話：017-723-2401）

◆ 主な取組内容

県内土地改良区職員の技術力向上を図るため、資格試験や講習・研修会への参加費用の助成を引き続き継続します。

また、資質向上や自己研鑽のため、新たな土地改良区における活用を促進するとともに更なる土地改良区職員の技術力の向上を支援します。

重点推進事項8 課題解決に向けた会員支援

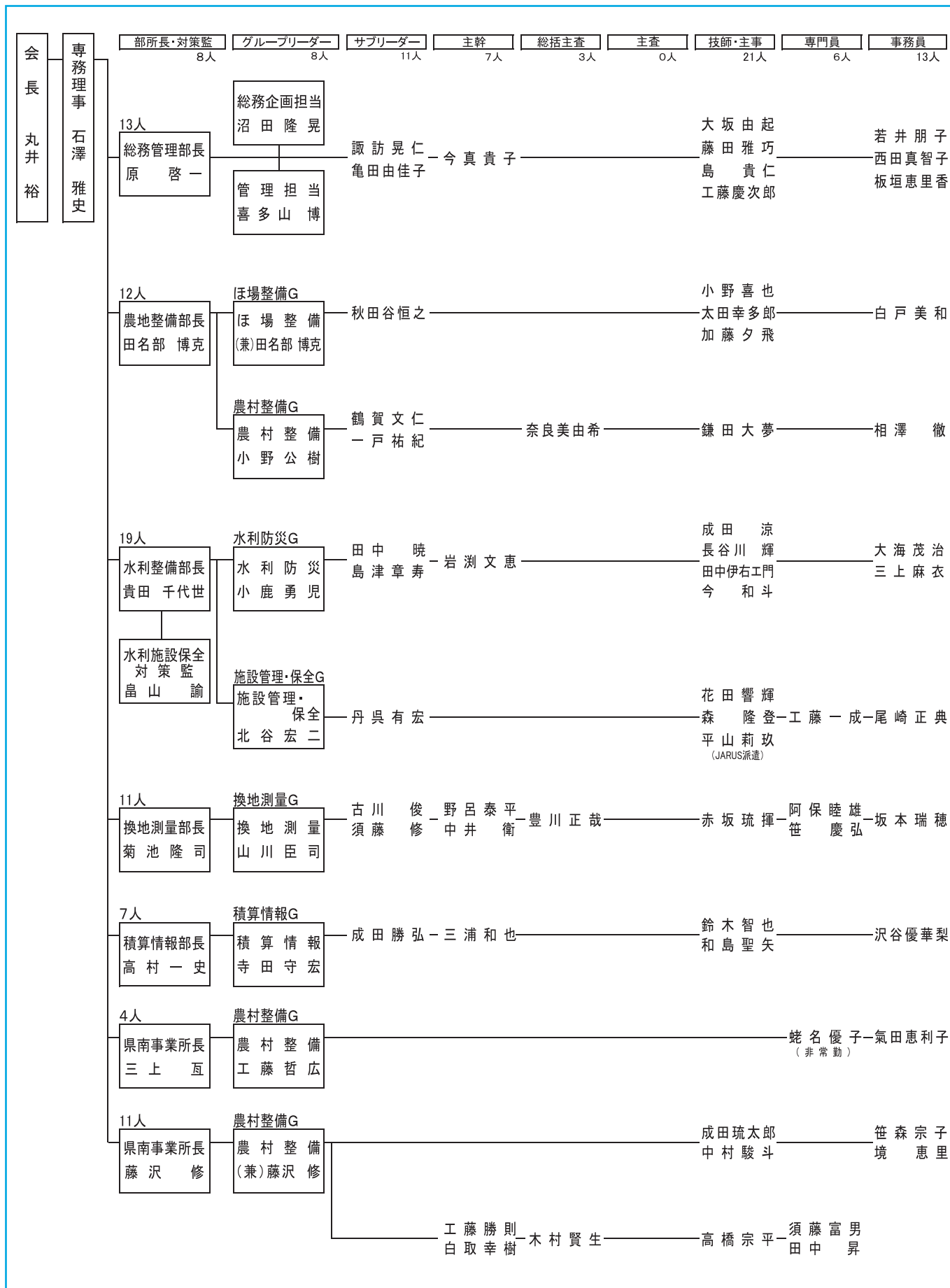
畑地化促進事業や水田活用の直接支払交付金への対応をはじめ、国内外の情勢変化に起因する地域課題については、土地改良区の組織運営への影響が懸念されることから、課題解決に向けた支援を行います。

担当部署：総務管理部（電話：017-723-2401）

令和7年度 事務分掌 (令和7年4月1日現在)

専務理事	会長	総務管理部	(総務企画部門)		
			(1)組織運営に関する事 (2)支部及び会員に関する事 (3)事業計画及び予算に関する事 (4)文書及び財産の管理に関する事 (5)職員の管理に関する事 (6)職員と会員の人材育成に関する事	(7)国及び県等関係団体との連絡調整に関する事 (8)農業農村整備事業推進に関する事 (9)農村振興技術連盟に関する事 (10)農山漁村-水循環保全学会の役員会に関する事 (11)その他特に命ぜられた事項に関する事	
			(管理部門)		
			(1)土地改良区の指導監査及び機能強化支援に関する事 (2)適正化事業の事務に関する事 (3)農家負担金軽減支援に関する事 (4)水田活用の直接支払交付金に関する事 (5)土地改良区の賦課金滞納整理に関する相談 (6)出納に関する事	(7)給与等に関する事 (8)受託及び委託契約に関する事 (9)補助事業等の経理事務に関する事 (10)監査及び決算に関する事 (11)その他特に命ぜられた事項に関する事	
		農地整備部	ほ場整備G	(1)ほ場整備事業に関する事 (2)農地中間管理事業の推進に関する事 (3)スマート農業に関する事 (4)農地耕作条件改善事業に関する事	(5)現場技術業務等に関する事 (6)ドローンの活用及び測量機器に関する事 (7)その他特に命ぜられた事項に関する事
			農村整備G	(1)集落基盤整備事業に関する事 (2)中山間総合整備事業に関する事 (3)畑地帯総合整備事業に関する事	(4)農道整備事業に関する事 (5)農道台帳管理に関する事 (6)その他特に命ぜられた事項に関する事
		水利整備部	水利防災G	(1)防災減災事業に関する事 (2)河川工作物応急対策事業に関する事 (3)ため池整備事業に関する事 (4)魚道整備事業に関する事 (5)水利権基本調査に関する事 (6)多面的機能支払交付金に関する事	(7)技術実践向上研修に関する事 (8)青森県ため池サポートセンターに関する事 (9)水循環システム保全に関する事 (10)農山漁村-水循環保全学会の活動に関する事 (11)企画提案書審査会の事務に関する事 (12)その他特に命ぜられた事項に関する事
			施設管理・保全G	(1)農業集落排水施設整備事業に関する事 (2)防災減災事業に関する事 (3)基幹水利事業に関する事 (4)施設・財務管理強化対策に関する事	(5)適正化事業の技術に関する事 (6)浄化槽保守点検に関する事 (7)その他特に命ぜられた事項に関する事
		換地測量部	換地測量G	(1)換地に関する事 (2)農地中間管理事業の推進に関する事 (3)交換分合に関する事 (4)受益農地管理強化対策に関する事	(5)青森県土地改良換地士部会に関する事 (6)確定測量に関する事 (7)調査測量に関する事 (8)その他特に命ぜられた事項に関する事
		積算情報部	積算情報G	(1)積算に関する事 (2)出来高設計及び財産譲与等に関する事 (3)会計実施検査、災害復旧に関する事 (4)農村災害支援協議会に関する事 (5)受託規程に関する事	(6)積算システムの運用に関する事 (7)水土里情報システムに関する事 (8)OA機器の管理に関する事 (9)その他特に命ぜられた事項に関する事
		県南事業所	農村整備G	(1)現場技術業務等に関する事 (2)管内における設計積算業務に関する事	(3)その他特に命ぜられた事項に関する事
		津軽事業所	農村整備G	(1)現場技術業務等に関する事 (2)管内における設計積算業務に関する事	(3)農地耕作条件改善改善事業に関する事 (4)その他特に命ぜられた事項に関する事

令和7年度 機構図 (令和7年4月1日現在)





新しい職員を紹介します！

水利整備部 水利防災グループ

なりた りょう
成田 涼



今年度から水利整備部水利防災グループに配属されました、成田涼と申します。

高校卒業後は約6年間宮城県に地方公務員として従事しておりました。地方公務員としては、主に圃場整備事業の工事監督員として、諸先輩方のご指導の下、積算や図面作成、受注者との協議を主に行ってまいりました。当グループでは水利施設関係の調査計画や計画変更等を主に行なっているため、事業の内容や業務内容、資料作成に係る根拠の在処等々、右も左も分からない状況で大変苦戦しております。しかし、積算や図面作成、協議打合せ等は過去の業務で培ってきた強みですので、本業務に一早く応用出来るよう励んでおります。

出身地：五所川原市
出身校：五所川原農林高等学校
趣味：漫画

趣味は漫画漁りで、最近では電子漫画の試し読みで面白そうな漫画を探しております。ここ最近ではグッとくる漫画に出会えていませんが、そんな日々も楽しいと感じております。

最後に、不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、一日でも早く連合会の戦力になれるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

各種資格取得一覧

会員に対し事務的、技術的な指導及び援助を適切に行うため、各種研修会に積極的に参加し、さらなる技術力の向上を目指して各種資格の取得に積極的に取り組みます。

資格取得者数（令和7年5月現在）

資格名称	取得者	資格名称	取得者	資格名称	取得者
技術士（農業部門-農業農村工学）	1	土地改良専門技術者（農業土木）	1	1級ポンプ施設管理技術者	1
技術士（農業部門-農村環境）	1	土地改良補償業務管理者	4	2級ポンプ施設管理技術者	1
技術士補	11	農業集落排水計画設計士	2	農業農村地理情報システム技士	2
測量士	10	浄化槽管理士	13	情報処理技術者ITパスポート	1
測量士補	17	浄化槽技術管理者	7	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	3
土地改良換地士	5	浄化槽設備士	1	危険物取扱主任者（乙種）2類	1
1級土木施工管理技士	12	下水道管理技術認定（処理施設）	1	危険物取扱主任者（乙種）3類	1
2級土木施工管理技士	4	2級ビオトープ計画管理士	3	危険物取扱主任者（乙種）4類	3
土木施工技術者	1	2級ビオトープ施工管理士	1	危険物取扱主任者（丙種）	2
農業土木技術管理士	21	第三種電気主任技術者	1	第一種衛生管理者	2
農業水利施設機能総合診断士	1	第一種電気工事士	2	安全衛生推進者	3
コンクリート診断士	1	第二種電気工事士	4	会計指導員	5
農業水利施設補修工事品質管理士	2	1級電気工事施工管理技士	1	簿記検定2級	1
土地改良専門技術者（地域農業開発）	7	二級ボイラー技士	1	簿記検定3級	3
土地改良専門技術者（農村環境）	1	VEリーダー	9		

水土里ネット青森 第68回 通常総会を開催

本会の第68回通常総会が、3月18日(火)青森県土地改良会館で開催され、市町村及び土地改良区等の会員110名(委任状58名)が出席しました。

開会にあたり丸井会長は、「国、県等と歩調を合わせながら、会員である市町村、土地改良区とともに、本県の基幹産業である農業の更なる発展に寄与していきたい」と挨拶しました。

続いて、土地改良事業推進の功績をたたえる土地改良功労者表彰が行われ、役員34名、職員8名が表彰を受けました。

その後、来賓の青森県副知事 小谷知也様、全国水土地改良事業団体連合会 会長 会議 顧問 宮崎雅夫参議院議員、東北農政局地方参事官 平山和徳様から祝辞をいただきました。

議事では、木立康行理事長(田山堰土地改良区)を議長に選任し、令和5年度決算関連、令和6年度補正予算、令和7年度予算関連等が審議され、これらの議案はすべて原案通り承認並びに可決されました。

また、任期満了に伴う役員の改選が行われ、令和7年度からの新体制が承認されました。

最後に青森第二北部土地改良区の工藤優治氏により「決議文」が朗読され、満場の拍手で採択されました。



総会の開催状況

地以反尹未凶伴廷口云亦



丸井会長挨拶

決議文

- 一 改正食料・農業・農村基本法を踏まえて、地域のニーズに対応した農業農村基本法を着実に進めるため、当初予算を基本とした安定的な予算を確保すること。
- 一 農業の競争力強化のため、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化、農地の集積・集約化や高収益作物への転換を促進する農地整備を推進すること。
- 一 農村地域の国土強靱化に向け、豪雨・地震等による災害対策、農業水利施設の更新・長寿命化や、防災・減災対策を推進すること。
- 一 農業・農村の有する多面的機能の維持発揮に向けた、多面的機能支払制度の予算の確保と、持続可能な活動組織の体制づくりを支援すること。
- 一 土地改良区の組織体制と運営基盤の強化に向け、水土里ビジョンの作成や人材育成のほか、土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。

令和7年3月18日

青森県土地改良事業団体連合会 第68回通常総会

第66回 全国土地改良功労者等表彰

全国土地改良事業団体連合会主催の、良好な運営を継続している土地改良区と、土地改良区の運営に多大な貢献をされた団体及び個人を表彰する「全国土地改良功労者」に団体表彰に2団体、個人表彰に3名が選ばれました。

《団体表彰の部》



沼崎土地改良区
和田 雅仁 理事長

《団体表彰の部》



青森北部土地改良区
工藤 美智磨 理事長

《役員表彰の部》



畠山 嘉昭 理事長
(田子町土地改良区)

《役員表彰の部》



木村 久榮 副理事長
(岩木川土地改良区)

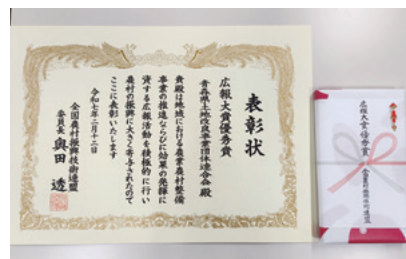
《職員表彰の部》



工藤 優治 事務局長
(青森第二北部土地改良区)

令和6年度農業農村整備事業広報大賞 表彰式

全国農村振興技術連盟主催「令和6年度農業農村整備事業広報大賞」の表彰式が、令和7年2月12日(水)、東京都のTKP新橋汐留ビジターセンターにおいて行われ、本会が平成31年から取り組む「水土里ネットラジオCM」が「広報大賞優秀賞」を受賞しました。



令和6年度能登半島地震に係る農林水産大臣感謝状 贈呈式



復旧活動に尽力した職員

能登半島地震にともなう被災地への本会職員派遣に対し、農林水産大臣から感謝状を頂きました。

被災地である石川県輪島市と能登町に農業集落排水施設の被害状況調査として、1月28日（月）から3月30日（土）の55日間で本会職員を16名派遣し、災害査定設計書の作成に向けた管路施設の基礎調査、異常が確認された路線では管口カメラを用いた詳細調査等の作業を行いました。

全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員との意見交換会

令和7年3月3日、18日、4月11日、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員が、県内15会場で東青・西北管内の土地改良区、林業関係、漁業関係及び建設関係の役職員に国政報告を行うとともに、農林水産業における現場の状況や課題等について意見交換を行いました。



五所川原北部土地改良区



五所川原市南部土地改良区



砂沢溜池・廻堰大溜池土地改良区



奥内、青森第二北部、青森北部、蓬田村土地改良区



青森中部土地改良区

技術力向上研修会

令和7年1月21日（火）、青森市の「アラスカ」にて、土地改良区と市町村、土地連の技術職員を対象とした研修会を開催し、79名が参加しました。

研修では、「青森新時代『農林水産力』強化パッケージについて」、「市町村や土地改良区による農業農村整備事業の実施について」、「農地・農業用施設の災害復旧事業の進め方とその基礎知識」、「『田んぼダム』の円滑な導入について」、「防災重点農業用ため池における防災・減災対策について」を学び、農業農村整備事業に携わる技術者としてのスキルアップを図りました。

水土里ネット幹部職員研修

令和7年1月27日（月）、ホテル青森にて、土地改良区の事務局長と土地連の幹部職員を対象とした研修会を開催し、71名が参加しました。



水土里ネット幹部研修会

研修では、男女共同参画地域みらいねっと小山内代表理事を迎え「Z世代の効果的な指導の仕方」について学ぶとともに、農村整備課企画調整グループ佐藤GM、板柳東部土地改良区の成田理事からは、青森県の農業農村整備事業と必要性について講演をいただき、最後に宮崎雅夫参議院議員から、農業農村整備に係る情勢報告をしていただき、管理職としての資質向上を図りました。

女子力で発信！

あおり水土里ネット 女性の会

2025年5月27日（火）デーリー東北（2面）

「あおり水土里ネット女性の会」の活動はフェイスブックをご覧ください



<https://jajp.facebook.com/aomori.midorinet.jyoseinokai>

青森県土地改良事業団連合会
田子町土地改良区事務局長の山崎順子さんが本年度、青森県土地改良事業団連合会（県土地連）丸井裕会長で、女性として初の理事に就任した。山崎さんは「非常に驚くとともに光栄だと強く感じている。女性の感性を土地改良の活性化に生かした」と意気込みを見せた。

山崎さん(田子)初の女性理事に
「光栄、感性生かす」
2年に田子町土地改良区職員、2013年から事務局長に就任。18年に設立された県内土地改良区の女性役員や職員で構成する「あおり水土里ネット女性の会」では、初代会長として活躍している。これまで通常業務に加えて、子どもたちに土地改良事業の役割を教える農業体験会の開催にも取り組んだ。山崎さんは「県食品工業（同町）を経て199

全国の土地改良区（連合会）では、本年度まで女性理事が占める割合を10%以上に増やすと取り組んでいる。県土地連は目的の総会で、理事13人のうち山崎さんと弘前大准教授の女性2人を選任した。任期は2026年3月まで。

山崎さんは「田子出身。太子食品工業（同町）を経て199

2年に田子町土地改良区職員、2013年から事務局長に就任。18年に設立された県内土地改良区の女性役員や職員で構成する「あおり水土里ネット女性の会」では、初代会長として活躍している。これまで通常業務に加えて、子どもたちに土地改良事業の役割を教える農業体験会の開催にも取り組んだ。山崎さんは「県食品工業（同町）を経て199

山崎さん 笑顔で抱負を語る山崎順子さん＝田子町

デーリー東北に掲載されました！

青森県管理運営体制強化委員会



令和7年3月5日（水）、土地改良会館にて「令和6年度 青森県管理運営体制強化委員会」が開催されました。



本委員会は、土地改良施設の管理事業等に係る検討を行い、土地改良区が適切かつ諸問題へ対応するための体制整備に資することを目的としています。

委員会では、「令和6年度事業経過報告について」関連案件5件、「令和7年度事業計画（案）について」関連案件4件が原案どおり承認されました。

青森県受益農地管理強化委員会



令和7年3月5日（水）、土地改良会館にて「令和6年度 青森県受益農地管理強化委員会」が開催されました。

本委員会は、本県における土地改良事業に関する換地事務の適正かつ円滑な遂行を図り、土地改良事業の成果の確保に資することを目的としています。

委員会では、「令和6年度 受益農地管理強化対策事業実績及び収支決算（見込み）」「令和7年度 受益農地管理強化対策事業計画（案）及び収支予算（案）」について本会事務局から説明し、原案どおり承認されました。



令和6年度 青森県多面的機能支払協議会 通常総会

令和7年3月12日（水）、土地改良会館にて「令和6年度 青森県多面的機能支払協議会 通常総会」が開催されました。



総会では、石澤会長より、「令和5年6月に改正された「食料・農業・農村基本法」では新たに農業生産基盤の「保全」が追加となり、持続的に農地や施設の管理保全を行っていくなかで、多面的機能支払の活動は一層重要な役割を持つ」と挨拶がありました。

議事では、「令和5年度決算」「令和6年度事業実績」「令和7年度事業計画及び予算（案）」が原案どおり承認されました。令和7年度で活動終期を迎える活動組織に対する継続支援及び新組織の設立に対する支援を行っています。

各種行事

あおもり農山漁村フォトコンテスト表彰式



入賞者の記念撮影

令和7年1月18日（土）、青森県観光物産館アスパムにて「令和6年度 あおもりの農山漁村フォトコンテスト」の表彰式およびパネル展示会が開催されました。

表彰式には、入賞者やそのご家族の方々にご出席いただいたほか、パネル展示会にも多くの一般のお客様の姿が見られ、青森の農山漁村の魅力を広く発信することができました。

クリーン・キャンペーンに参加

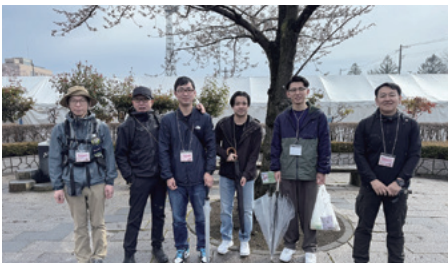
令和7年4月5日（土）、用排水路へのゴミ投棄防止啓発活動の一環として西津軽土地改良区が行っている「クリーン・キャンペーン」が開催され、本会から20名が参加しました。

今回で27回目となる活動は、特にごみが目立つ古田川、中の川排水路などが対象で、参加者は火ばさみとごみ袋を手に、ごみを分別して拾い集めました。



ゴミ拾いの様子

稲生川ウォーク2025へ参加



ウォーク前の集合写真

令和7年4月20日（日）、かつて三本木原に農業用水を引き入れ、実りをもたらした新渡戸傳をはじめとする先人たちの功績をたどる「稲生川ウォーク2025」が開催され、本会から7名が参加しました。

参加者らは、春の稲生川沿いの景色を楽しみながらウォーキングし、ゴール地点を目指しました。

水土里ネットラジオ時報CM(春)

農業農村整備広報活動の一環として、「ラジオ時報CM」の収録を行いました。

ラジオCM時報は、農業者を元気づけるとともに一般県民に農業と農村の魅力を伝え、「土地改良」の浸透に務めるため、水土里ネット職員が5月1日～6月4日の1ヶ月にわたり平日午後13時の時報をお知らせしました。



1週～2週目の参加者



3週～5週目の参加者

令和7年度 あおもりの農山漁村フォトコンテスト作品募集

林業・畜産業の
写真大募集



高校生
以下の応募
大歓迎

農業

漁業



部門及びテーマ

- 農山漁村の風景部門
テーマ「とびっきり」
- 人々の暮らし部門
テーマ「はれやか」

【各賞】部門ごとに

最優秀賞	1点	(商品券2万円分)
優秀賞	2点程度	(商品券1万円分)
優良賞	4点程度	(商品券5千円分)
青少年奨励賞	3点程度	(商品券5千円分)

(高校生以下が対象)

応募締切

- 令和7年10月31日まで

※詳細は、水土里ネット青森ホームページ
(<https://www.aodoren.or.jp/>) をご覧ください。

第47回 全国土地改良大会佐賀大会

主催 全国土地改良事業団体連合会
佐賀県土地改良事業団体連合会主催

大会テーマ

水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来

【日程】

2025年10月15日(水)

会場：SAGAアリーナ 佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



土地改良の調査・測量・設計・施工管理及び換地業務等の相談は会員の信頼に応える水土里ネット青森へ



青森県土地改良事業団体連合会

本部／青森市本町二丁目6-19 TEL.017-723-2401 FAX.017-734-6239
 県南事業所／十和田市東二十一番町2-1 TEL.0176-22-3752 FAX.0176-22-5719
 津軽事業所／五所川原市大字漆川字袖掛152-6 TEL.0173-33-2258 FAX.0173-33-2259



<https://www.aodoren.or.jp/>